

基本項目記入数

25

チャレンジ項目記入数

13

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・建築廃材等を中心に分別を徹底し、専門業者に委託し適切処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・照明はLEDに取り換え、ガソリン車をハイブリッド車に転換する等、日頃からエネルギーの削減に取り組んでいる。また、県の簡易計算シートを活用しエネルギー使用量を把握し、高効率重機の導入などさらなる削減に取り組んでいる。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・照明はLEDに取り換え、ガソリン車をハイブリッド車に転換する等、温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいる。また、県の簡易計算シートを活用し温室効果ガスの排出量を把握し、高効率重機の導入などさらなる排出抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・河川工事等の際は、自社で汚濁防止シートを購入し活用したり、沈砂池を設け濁水が流出しないよう取り組んでいる。また、現場事務所ではプランターを設置するなど緑地の創出に取り組んでいる。						6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・再生用紙や裏紙を活用に取り組んでいる。また、コンクリートを砕いた再生クラッシュの活用に取り組んでいる。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・日常的に節水に取り組んでいる。また、工事現場では夏場の散水等で水道水ではなく、河川水使用に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生用紙の活用に取り組んでいる。また、文具用品等は可能な限りリサイクル商品の購入に取り組んでいる。										9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・社内での忘年会や花見等の懇親会では3010運動(開宴30分間は自席で食事、終宴10分前には自席について食事を食べ終える)を推進するなど食品ロス削減に取り組んでいる。	1	2				6.4								12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・現場事務所でプランターを設置に取り組んでいる。また、社内にも観葉植物を配置し緑の創出と管理に取り組んでいる。												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー利用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	・ダンプカーや重機等は、省エネタイプで高効率な機器へ随時転換に取り組んでいる。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6				9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・エコバックを活用するとともに、コップをプラスチック製から陶器に変更した。また、月1回の道路クリーンボランティアや河川のゴミ拾い活動に参加しプラスチック等の回収に取り組んでいる。														12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●												9.4			11.2		13.1 13.3			
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13			17.2		

